

とうきょう すぐわくプログラム活動報告書

所在	港区赤坂 9-4-2
園名	みなど保育サポート赤坂

1. 活動のテーマ

＜テーマ＞

五感を使った遊び

「五感：視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚=五感を使った探求心を広げる」

＜テーマの設定理由＞

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

保育室が、0、1歳児/2歳児以上の縦割りの保育を行っている。

五感を使った巧緻性を育むような活動に焦点をあてる。

毎日に遊びの中につまむ・ひねる・おす・ひっぱるなど日々の活動に取り入れ子どもの五感を使って探求心を育む遊びの広がりを伸ばす遊具を取り入れる。

2. 活動スケジュール

8月に乳児につかえる玩具を購入し、保育室に設置。主に1、2歳児対象。0歳児は、高月齢の子を対象にした。

9月頃より活動に取り入れた。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

ひねるあそび：0歳からのこま/つまむあそび：コイン落とし/ねじねじつみき

集中して自由に手に取り、遊びに取り組む環境作りを行った。

4. 探究活動の実践

＜活動の内容＞

・0歳児（高月齢）/こまを手に取りにぎったり、触ったりしながら人差し指で触れているとまわったことで回す遊びをはじめた。

・1歳児/こまを握り5本指を使い握って回し始めた。

コイン落とし、ねじねじつみきは、つまむ・ねじるあそびは、2歳児が主に遊び始めた。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・初めて目にする玩具に興味を持ち、触れて遊び方を考えているようだった。

1歳児の高月齢児は、右のコマを回すと渦巻模様が動くこと興味を示し、5本指で回し始めた。保育者は、遊びを見守りながら慎重になっている子に声をかけ遊び方を伝えた。



5. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

子どもの活動のなかから発達の違いは、月齢だけではなく、過ごしている環境・経験などによって異なる。一人一人の発達に合わせて保育活動を進めていく。新たな発見も見ることができた。例：1歳女児（高月齢）　コイン落とし遊びをしていた。つまんで色別にコインをいれることができていた。色の区別が出来ていることを知り、月齢だけではないと思った。